

4 クラスタを体験してのアンケート結果

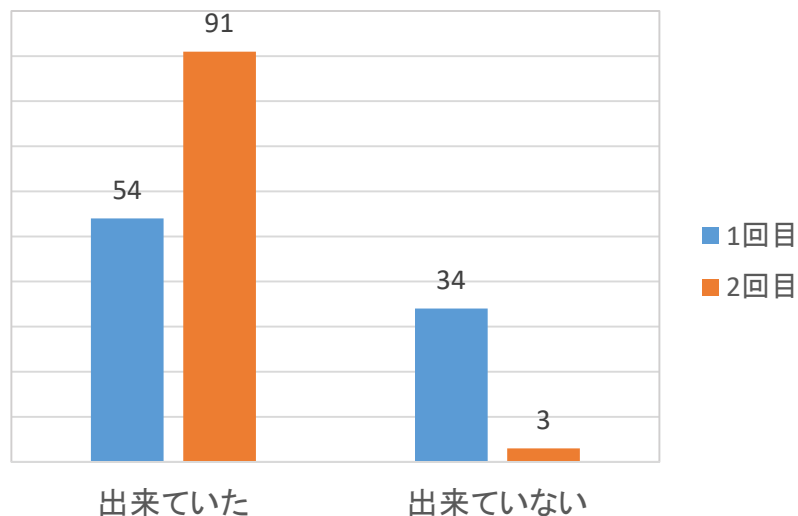
- ①. クラスタ発生時の対応について
- ②. 指揮命令について
- ③. 知識・意識について
- ④. 研修について
- ⑤. 精神面の影響について
- ⑥. 体調の変化

についてアンケートを行った

対象人数	1回目	98名(未回答4名)
	2回目	99名(未回答2名)

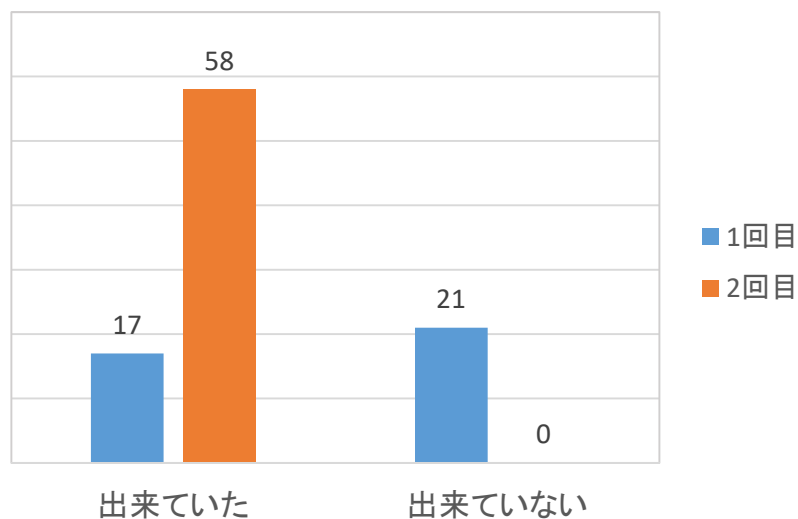
①. クラスタ発生時の対応について

上司からの状況説明



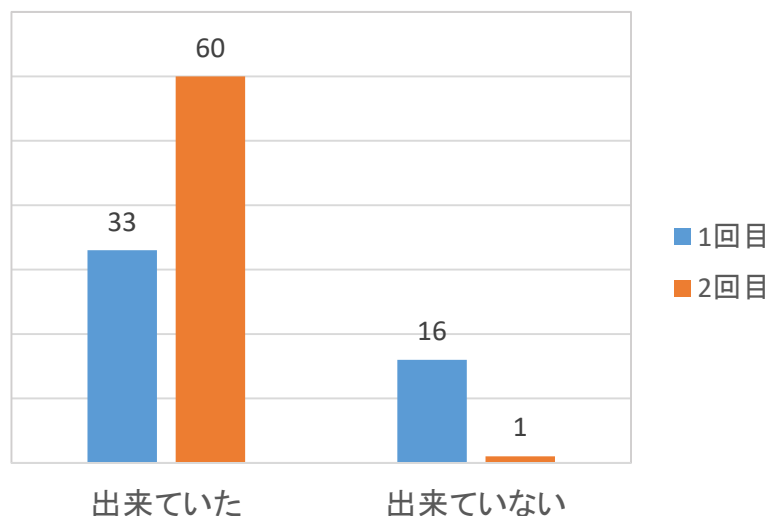
1回目は「出来ていない」が34名と不安を招いたが、2回目は災害掲示板を活用することで上司から説明がしっかり出来ていると評価された。

感染者隔離に対する対応



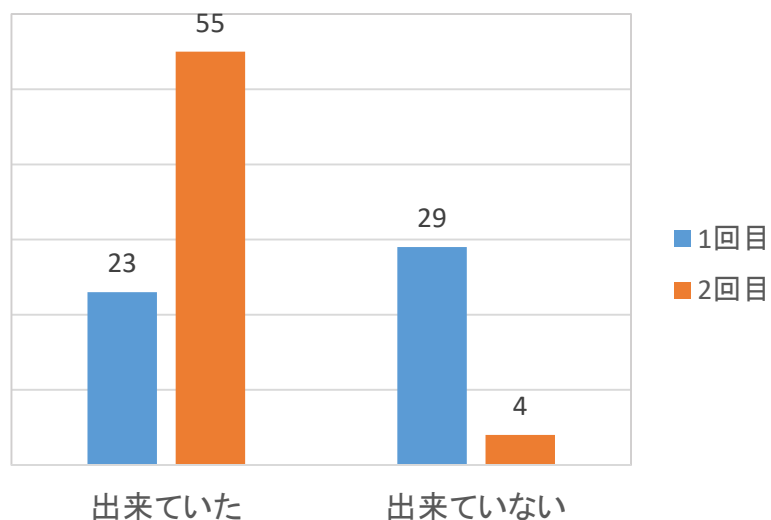
1回目は、感染区域に集めるため、部屋移動を繰り返した。そのため感染が広がった。1回目の反省から、2回目は患者を移動せずに病室隔離に変更した。その結果、終息を早めることができた。

患者からの飛沫、接触感染への意識



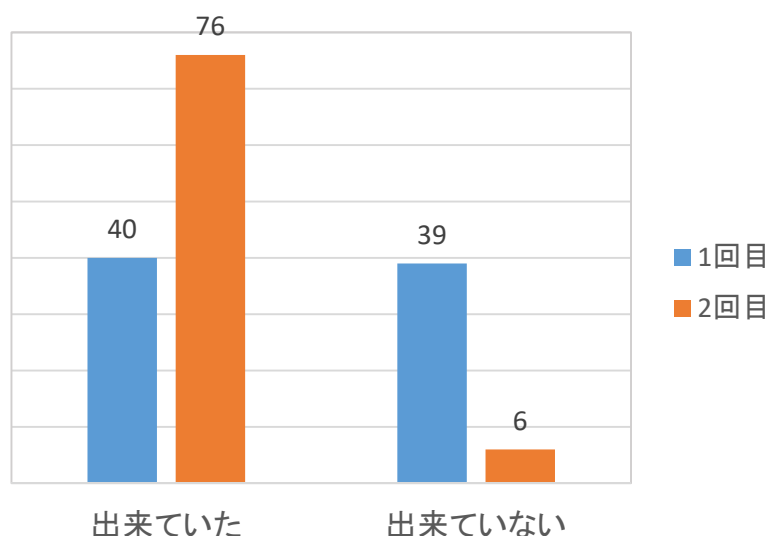
「出来ていない」が1回目は16名から2回目は1名になった。この1名は病棟勤務でなかったため危機意識が低かったのではないか。

②. 指揮命令について 指揮命令系統



1回目は「出来ていない」が29名と現場が混乱したのに対し、2回目は4名に減った。毎朝の管理者会議で方針が統一され、迅速な対応が出来た結果と考える。

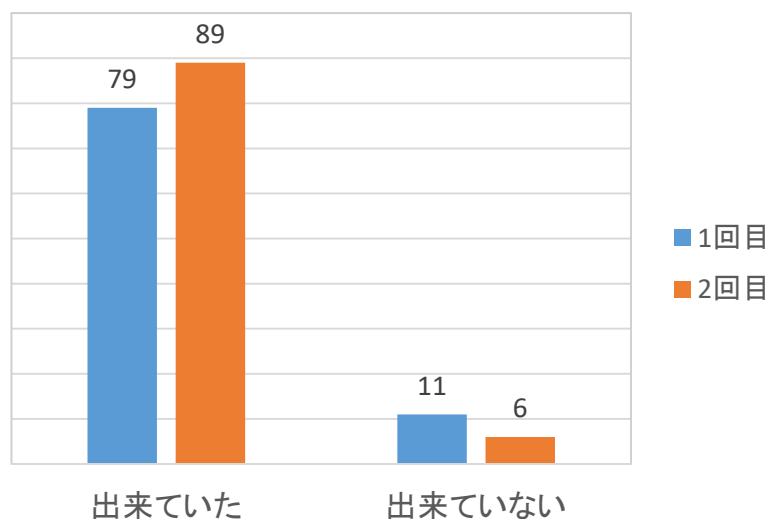
職員同士の意思疎通



災害掲示板を活用することでクラスター発生病棟以外の職員も状況をタイムリーに知ることが出来た。

③. 知識・意識について

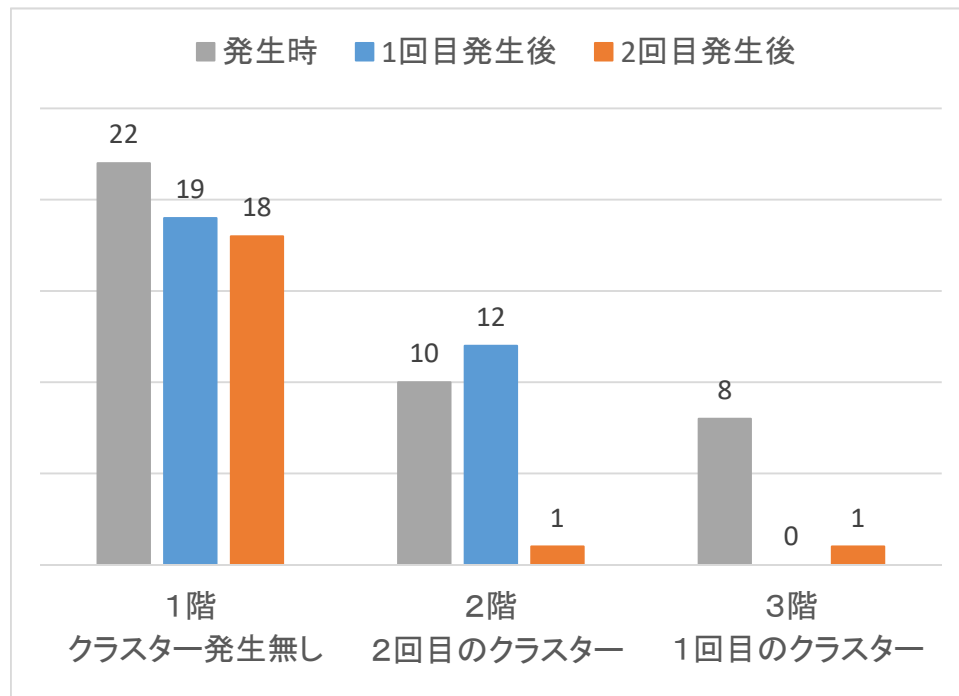
日常生活、活動への注意意識



クラスターを経験したにもかかわらず、意識していない職員がいた。2回目で0名にならなかったのは危機感に欠け今後の課題である。

④. 研修について

PPE着脱についての知識(理解出来ていない職員数)



クラスターを経験した部署は着脱についての知識は向上したが、直接経験していない1階職員の理解度が不十分だった。定期的な全職員対象の実践研修が必要である。

⑤. 精神面の影響

⑥. 体調の変化

精神的症状や体調変化は1回目・2回目ともクラスター発生中や後にも残っていた。

第三者によるメンタルケアのサポート体制を整備した。